

U-18 女子サッカーリーグ 2025 北海道

1部、2部開催要項

- 1 主 旨 北海道の女子 U-18 年代のサッカー技術向上と健全な心の育成を図り、ユース年代の女子サッカーのレベル向上に寄与すること、そして高校ならびにクラブチームのさらなる増加、活動の活性化を促進する。
- 2 名 称 U-18 女子サッカーリーグ 2025 北海道
- 3 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会
- 4 主 管 公益財団法人北海道サッカー協会女子委員会、各地区サッカー協会
- 5 期日・会場 2025 年 4 月～10 月。日程及び開催地の会場は別途決定後に発表する。
- 6 参加資格 (1) (公財)日本サッカー協会に「女子」の種別で登録した加盟チームであること。
(2) クラブチームに関しては(公財)日本サッカー協会に登録(追加登録も含む)されている高校生以上の登録人数は 5 名以上とし、中学生以上の登録選手であること。但し中学生以下の選手だけでの大会申込は不可とする。
(3) クラブ申請制度の適用
(公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」内のチームに所属する選手(複数人可)については、所属チームから移籍することなく、上記(1)のチームで参加することができる。ただし、参加する選手については以下のすべてを満たしていること。
①上記(2)を満たしていること。
②下記種別区分のチームに所属していること。
- | 参加チームの種別区分 | 同一「クラブ」内のチーム登録種別区分 |
|----------------------|---|
| WE リーグ・なでしこリーグ・一般・大学 | 高校・クラブ(高校生)・中学・クラブ(中学生)・(男子)2 種・(男子)3 種 |
| 高校・クラブ(高校生) | 中学・クラブ(中学生)・(男子)3 種 |
- (4) 外国籍選手は 5 名まで登録でき、1 試合 3 名まで出場できる。
(5) 連戦について
選手の健康面を考え、同日・土日の連戦は認めない。
ただし、1 回の移動に選手に著しく経済的な負担がかかるチームについては、(公財)北海道サッカー協会女子委員長が認めた場合は連戦を認める。また、自然災害や感染症など不測の事態による日程調整による連戦についても同様とする。
その際、選手の健康面に配慮し 1 日目の試合終了時間から、2 日目の試合開始時間まで、できる限り 24 時間以上間隔を空けるように努めるものとする。
- 7 参加チーム 【1 部】 北海道文教大学附属高等学校、北照高等学校、旭川実業高等学校
クラブフィールズ・リンダ、北海道リラ・コンサドーレ、
北海道大谷室蘭高等学校
【2 部】 札幌大谷高等学校、帯广大谷高等学校、帯広北高等学校、
札幌東商業高等学校、旭川南高等学校
- 8 大会形式 1 部と 2 部ともに 2 回戦総当りのリーグ戦を実施する。
順位を決定する方法は、勝点合計が多いチームを上位として順位を決定する。勝点は、勝利 3 点、引き分け 1 点、敗戦 0 点とする。但し、勝点合計が同じ場合は、以下の順序で順位を決定する。
①全試合の得失点差(=総得点-総失点)
②全試合の総得点数
③当該チーム間の対戦結果
④当該チーム間の得失点差

9 競技規則
10 競技会規定

⑤当該チーム間の総得点数

⑥前記項目が同一の場合は、抽選(当該チーム監督の立ち会い)により決定する。本年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。

以下の項目については本大会の規定を定める。

- (1) ① 試合時間は 80 分間(前後半 40 分)とする。ハーフタイムのインターバルは原則 10 分間(前半終了から後半開始まで)とする。
② アディショナルタイムの表示:行う
- (2) 競技者の数
①競技者の数:11 名
②交代要員の数:9 名以内
③交代を行う事ができる数:7 名まで
- (3) 選手交代数の制限
① 選手交代は、各チーム最大 3 回とする。
(1 回に複数人を交代することは可能)
② ハーフタイム時の交代は回数に含まれない。
③ 脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
a.脳震盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳震盪交代」という)は、通常の交代に含まれない。
b.脳震盪交代は、通常交代と判別するため、別途指定する手続きで行われなければならない。
c.脳震盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代及び脳震盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
d.脳震盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる(以下、本項に基づく交代を「追加交代」という。)ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。なお、追加交代は理由如何を問わず使用できる。
e.1試合における各チームの脳震盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
- (4) テクニカルエリアに入ることができる役員は登録している 6 名以内とする。
- (5) テクニカルエリア:戦術的指示はエリア内から都度1名が伝えることができる。
- (6) ①ユニフォーム
a. (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
b. 以下のいずれかに該当するチームは、各リーグのユニフォーム要項で認められたユニフォームであれば、本大会でも使用を認められる。ただし、一部でも仕様が異なる場合は認められない。

チーム	適用されるユニフォーム要項(リーグ)
Jクラブ傘下のチーム	公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)加盟チーム	公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)
日本女子サッカーリーグ(なでしこリーグ)加盟チーム	一般社団法人日本女子サッカーリーグ(なでしこリーグ)

この際、シャツの色彩が、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備できる場合のみ使用を認められる。

- c. フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)を用意のうえ、参加申込の際所定の様式にて提出し、各試合には正副両方を必ず携帯すること。
d. 各試合で使用するユニフォームは、(公財)北海道サッカー協会女子委員会

にて事前に指定する。チーム都合による変更は認められない。両チームは試合当日、正副ユニフォーム現物を持参し、審判員立会いのもと確認を行う。その際、審判員が判定に影響があると判断した場合には、使用するユニフォームを変更することができる。

e. シャツの前面・背面に、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。

f. ユニフォームの色、選手番号については、参加申込締切後の変更は認められない。

g. ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。

②キャプテンアームバンド

チームキャプテンはチームが用意したアームバンドを着用すること。「キャプテン」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語・文字も入れることができるが、単色でなければいけない。

(7) マッチコーディネーションミーティングを試合開始 60 分前に各会場の所定の場所で開催する。

(8) その他

①第 4 の審判員の任命: 行う

②負傷者の対応: 主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。

③メンバー提出用紙提出後からキックオフまでの間における選手変更は、ウォーミングアップ・練習中の負傷または急病等、やむを得ない事情があり、かつ主審の承諾を得た場合に限られる。先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、ゴールキーパーについては例外として認める。また、控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。ただし、補充する選手は出場チームが参加申込をした選手の中からとする。

11 懲 罰

(1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。

(2) 大会規律委員会の委員長は、大会運営委員長とし委員については委員長が決定する。

(3) 本大会期間中、警告を 3 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。

(4) 本大会において退場を命ぜられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会の規律委員会で決定する。

(5) 棄権試合又は一方の責任により中止となった場合は、帰責事由のあるチームを 0 対 3 の負けとし、対戦相手チームに勝点 3 を与える。但し、特別な理由もなく棄権したチームには、次年度以降の出場を停止する。

(6) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。

12 入 替

(1) 1 部第 6 位のチームと 2 部 1 位のチームは入替戦を行い、勝者が 2026 年度 1 部リーグに出場する。

(2) 入替戦期日: 未定

(3) 入替戦の競技規則及び競技会規定はこの要項に定めるものとする。但し、勝敗が決しない場合は PK 戦によって勝者を決定する。

13 表 彰

14 参 加 料

15 参加申込み

行わない。

90,000 円(消費税込)

参加チームは、以下の手続きを期日までに完了すること。

(1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出

所定の用紙をEメールで申込先A宛に提出する。

※申込みを受けた地区協会は KICKOFF にて登録状況を確認し、申込書データを申込先 B 宛に提出すること。また、プライバシーポリシー同意書を B 宛

に提出すること。

※参加申込後の役員の変更は可能とし、所定の用紙を所属地区サッカー協会を通じて(公財)北海道サッカー協会に申請すること。

- (2) 大会参加料は、申込締切日までに指定口座(7)へ納入すること。
- (3) 親権者同意書は、郵送で申込先 B 宛に送付すること。
- (4) 申込締切日 2025年3月31日(月) 15:00 必着
- (5) 参加申込書に登録し得る人員を全て記入すること。(ポジションを、GK、DF、MF、FWと記入すること。)選手の追加がある場合は、3日前に追加届を提出すること。
- (6) 申込先 A: 所属地区サッカー協会
B: (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41
北海道フットボールセンター内
TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101
- (7) 指定口座 銀行名 北洋銀行 平岸中央支店
口座名 公益財団法人 北海道サッカー協会
女子委員会 代表 越山 賢一
口座番号 普)4209181
※チーム名・監督名を記入の上振り込みすること
- (8) FP・GKの正副ユニフォーム、アームバンドの写真を別紙報告用紙に添付のうえ、下記宛に送付すること。
リーグ担当 立野友之 tateno.tomoyuki.2010@gmail.com

- | | | |
|----|-------|--|
| 16 | 競技審判員 | 主審は3級以上(ユース審判可)とする。審判員が不足している場合は、参加チームに審判を依頼する。 |
| 17 | 選手証 | (公財)日本サッカー協会および本大会に参加申込を完了した選手のみが試合に出場する権利を有する。各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会の発行する選手証を原則として持参しなければならない。ただし、写真貼り付けにより顔が認識できるものであること。
※選手証とは WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。 |
| 18 | 会場設営 | (1) 参加チームは、各開催地区協会から会場運営等について、協力要請があった場合は最大限に協力して行うこと。
(2) 会場準備、片付け等、チーム運営委員の下に担当チームが責任を持って行うこと。 |
| 19 | 競技記録 | (1) 各試合 2 名で行うことを推奨する。試合終了後、記録内容を確認し記録用紙に両監督、主審、MCの署名をもらうこと。
(2) 完成した記録用紙は運営責任者に提出すること。なお、その後の異議及び訂正は認めない。 |
| 20 | その他 | (1) 大会要項に規定されていない事項については本大会運営委員会において協議の上決定する。
(2) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。また、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(3) 大会参加にあたっては、各チームは大会参加前にスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませること。
例 (公財)スポーツ安全協会北海道支部 TEL 011-820-1709
(4) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長等で構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
(5) 試合の中止・中断の決定について
① 試合の中止・中断の決定については、会場責任者及び当該試合の主審と協議の上、決定する。
その後の処置については、大会運営委員会において協議の上、決定する。
② 前半終了後、中止された場合は、その時点のスコアで試合成立とする。 |

- (6) 各チームに少なくとも1名以上のクラブウェルフェアオフィサー(以下 CWO)を設置する。申込みの際に1名分の CWO の氏名と連絡先の記入欄があるので記載すること。CWO は役員と兼務可能とする。